

1 主題構成表

主題名 自分や友達のよさを見つめて
資料名 めざせ、百八十回！

<p>■内容項目 A 個性の伸長 自分の特徴を知って、短所を改め、長所を伸ばすこと。</p>	<p>■内容項目から見た児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はっきりと分かる特徴については自分の長所だと自信をもっているが、目に見えない特徴については、漠然としか知らない。また、自分の短所の表出により仲間に嫌な思いをさせた経験をしているが、それが短所だという意識はあまりない。また、自分の短所に気付いていないため、改善したいという思いには至らない。 ・自分の長所に気付き、伸ばしたいと思っているが、その意識が継続しているわけではない。 ・仲間の長所は知っている。 <p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他人と比べてはっきりと目には見えない特徴や性格について、考えたり、他人から指摘されたりした経験があまりない。特に短所について自分と向き合っただけで考えた経験が少ない。 ・長所を伸ばし、短所を改善するためには、具体的にどうすればよいのか、考えたことがあまりない ・クラス替えのない仲間と過ごしてきた時間は長く、仲間の特徴を知っている。 	<p>■資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本教材は、長所と短所が対照的な二人の主人公が、クラスで八の字チャレンジの記録を伸ばそうと積極的に取り組む姿が描かれている。二人の短所のせいで一旦はクラスの雰囲気が悪くなるがお互いの長所を認め合い、自分の短所を改善しようとしたことで、クラスの雰囲気が変わり、結果記録が伸びていく方向に向かうという内容である。 ・誰にも長所と短所があり、短所でも本人の改善したいという少しの思いがあれば改善することができる。さらに、短所を改善したことで二人とも長所がより生かされ、クラスにとってもよい方向に向かったということを考えることで、自分も短所を改善しようという意欲につながるができる教材である。 ・短所が改善できたのは、仲間のよさに対して、自分もそうなりたいというほんの少しの心がけであった。短所は改善することができることに気付かせ、自分も仲間の姿を見習って短所を改善したいという意欲を高めたい。
<p>■ねらい 仲間のよさを見つけ、そのよさを自分にも取り入れようとする中で、自分もよりよく成長できることに気付き、自分の短所も自分の特徴のひとつだと認め、それを改めたいという意欲を高める。</p>		
<p>■研究内容に関わって</p> <p>【研究内容Ⅱ】仲間と考えを深め合い、自分自身を見つめることができる道徳授業のあり方</p> <p>(1) 児童の学習状況を具体的に描いた指導と評価の一体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の児童が、仲間の姿と言動から自分の短所を改めようという気持ちをもつことで、短所が改善され、長所がよりよくなったことに、板書や切り返し発問等から気付かせ、自分もそうしてみようという心情へつないで、意欲を高めていく。 <p>(2) 多面的・多角的な考えを引き出し、価値を深める指導過程の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入で資料と自分をつなげることで、展開後段への自己見つめのきっかけとする。 		

2. 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<ul style="list-style-type: none"> ◇仲間や自分の特徴（長所と短所）について考える。 ○仲間の長所について知っていることを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんは、とてもやさしい。 ・○○さんは、明るい。 ○自分の長所と短所だと思っている所を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・運動が得意なところが長所で、自信がないところが短所 ・責任感のあるところが長所で、怒りっぽいところが短所 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰にも長所、短所があることを確認し、それがその人の特徴であり、短所も気楽に発表できる雰囲気を作る。
展開前段	<ul style="list-style-type: none"> ◇資料「めざせ、百八十回！」を読み、自分の特徴をよりよく伸ばすためにはどうすればよいか考える。 ○奈々子とわたし（愛菜）の長所と短所はどんなところか。 <ul style="list-style-type: none"> ・奈々子は、明るく笑顔で場を盛り上げるのが上手なところが長所だけど、短所は、時間にいい加減なところ ・愛菜は、時間やきまりを守るリーダータイプなところが長所だけど、短所は言い方がきつい。すぐに口に出してしまう。 ○愛菜は「みんなもっと真剣になってよ。180回なんて絶対に無理だよ。」とどんな気持ちで言ったか。 <ul style="list-style-type: none"> ・何とか記録を伸ばしたい。みんなのやる気を出したい。 ◎次の日の練習後、愛菜はどんなことを考えたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・奈々子が言い返さず笑顔で言ってくれたおかげで雰囲気が変わった。 ・奈々子が今日は時間通りに来た。 ・奈々子は短所を変えた。 ・私はきつい言い方で、雰囲気は暗くなった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【深めの発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○愛菜はどうしたいと思ったのか。それはどんな気持ちからか。 ・奈々子のように明るく笑顔で言おう。 ・きつく言うのをやめよう。はっきり言うのは続けよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>仲間のよさに気付き、短所を変えたいと思えば、よりよく変わることができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◇本時の授業で感じたことをもとに、自己を見つめる。 ○これから、自分のどの短所をどう変えていきたいか。 <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんはゲームに負けてもイライラしないから見習って、怒りっぽいところをちょっと我慢してみたい。 ・○○さんの苦手なことでもあきらめずに取り組んでいるところを見習って、あきらめないでがんばってみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の長所と短所を分かりやすく板書する。 ・複雑な心情の変化を表情カードで理解できるようにする。 ・愛菜の記録を伸ばしたいという気持ちには共感させた上で、「みんなもっと真剣になってよ。」という言い方は周りのみんなはどう受け止めたか問い返す。 ・よい雰囲気になったのは、奈々子が短所を改善したからだけではなく、愛菜のきつい言い方で悪くなった雰囲気を奈々子が明るく笑顔で変えてくれたからであることに愛菜が気付いたことを確認する。 ・「おいしい。ちょっとタイミングがずれたけど、だいじょうぶ！いける、いける！」と言う愛菜の言い方が、始めと比べて、おだやかな言い方になったこと、そのことによって周りの仲間の受け止め方も変わったことに気付かせる。 ・深めの発問を通して、お互いに相手を見習って、短所を変えようとしたことに気付かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価の視点】</p> <p>板書の確認や問い返し発問をすることで、二人が、お互いの長所を認め、長所そのままに短所を改善しようとしたことに気付いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のどの短所を変えていこうか考え、そのような長所をもっている仲間は誰なのか思い浮かべようとする。 ・短所を変えることで、長所がより生きてくることを、短所を直すのではなく、考え方を変える、対処方法を考えることでもよいことをアドバイスする。 </div>
終末	<ul style="list-style-type: none"> ◇教師の説話を聞く。 ○短所は考え次第で長所になること、誰でも短所も長所もあり、それが自分らしさであり、長所を伸ばしていくことが大切であることについて。 ・次の交流学級での道徳授業に対する構えを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流学級の道徳で、仲間が仲間のよさをどのように見習い、短所を変え長所を伸ばしていこうとするのか考えを聞き、自分の考えを深めてほしいことを話す。

